

コンプライアンス

関連するトピックスとデータの中から一部を報告します。

私たちの根底にあるコンプライアンス

オリコグループは、法令だけでなく、社内の規程・規則や社会規範を守ることも含めてコンプライアンスと定義しています。社会や人々に役立つ良い仕事の前提として、一人ひとりが良識や責任感をもって行動することが、不正や違反が生まれにくい健全な企業風土の醸成につながります。

コンプライアンス啓発の実施

約 **80** 分

オリコ社員全員が取り組むコンプライアンス e 研修時間
(1人あたりの年間平均時間)

関連法令の遵守や個人情報の取り扱いなど、定期的な e 研修により、コンプライアンス意識の浸透・定着に取り組んでいます。

※研修内容によってはオリコグループ全体で実施



●自主点検の実施

適正な業務運営を確保するために、職場・個人単位で自主点検を行っています。

● 自店検査

(各職場責任者が3ヵ月に1度実施)

● コンプライアンスチェックシート

(全員が毎月実施)

| 項目 | チェック欄 |
|--|-------|
| 1 コンプライアンスチェックシートは、個人情報取扱いおよびコンプライアンスに関する基本事項の振り返りを行うために、毎月1回必ずチェックする自主点検ツールであることをご確認ください。チェックシート実施時には就業し終った後に行っている。※実施期間は、全員が「○」または「×」で回答して下さい。 | ○ |
| 2 個人用点検中に「個人情報取扱いに関する事項」を確認していない。※実施期間は、全員が「○」または「×」で回答して下さい。 | ○ |
| 3 就業場内のゴミ箱に、個人情報を含んだ資料を棄棄していない。※実施期間は、全員が「○」または「×」で回答して下さい。 | ○ |
| 4 本業とは関係ない「センシティブ」情報に該当し、勤務中に提供することは原則できないが、当社が取得した運転免許証・住民票等に本職が記載されている場合は、本職が取得した運転免許証・住民票等に本職が記載されている。※実施期間は、全員が「○」または「×」で回答して下さい。 | ○ |
| 5 本業とは関係ない「センシティブ」情報「勤務先」に関する「勤務先」を、個人情報取扱いに関する事項の取扱いに注意して取り扱っていない。※実施期間は、全員が「○」または「×」で回答して下さい。 | ○ |
| 6 オフィスデスクの整理は、就業時間中であっても、最低5分はデスクを整理し、整理していないことを確かめようとしていない。※実施期間は、全員が「○」または「×」で回答して下さい。 | ○ |

【例】

- 個人の机中に、個人情報記載された書類を保管・放置していない。
- お客様や加盟店と対応する際は、自分自身が会社を代表する窓口であるという当事者意識を持つて対応している。

●コンプライアンス意識向上の推進

コンプライアンスを正しく理解し、日々の業務を行う中で常に確認するために、全ての役員・社員に「コンプライアンス・チェック/オリコ・ヘルプライン携帯カード」の携帯を義務付けています。



●コンプライアンス・チェック

自らの行動をチェックし自省する5つの自問を簡潔に記載しています。

●オリコ・ヘルプライン

社内の違反行為等の発生または発生のおそれがあるときに通報する内部通報窓口を記載しています。

●各種資格の取得推進

コンプライアンスを実践するための基礎となる各種資格の取得を推進しています。

資格保有者数(2015年3月末時点)

| | |
|----------------|--------|
| 貸金業務取扱主任者 | 1,453人 |
| 個人情報取扱主任者 | 2,646人 |
| コンプライアンス・オフィサー | 1,842人 |

▶▶ 一人ひとりが相手の目線で考えられるコンプライアンス風土の醸成へ

□ コンプライアンス・企業倫理の浸透

オリコグループは、全ての役員・社員がより高い倫理観をもって業務に取り組むための行動規準「The Orico Group Code (オリコード)」を制定し、公正な企業活動の推進に努めています。全社員対象の研修に加え、役員や管理職、新入社員など各階層の特性に合わせた内容で集合研修を実施しています。また、知識の習得だけでなく、実践力を培うために、日常業務で起こり得る事例を基にした動画を、DVDや社内イントラネット内で共有しています。

□ 相談・通報窓口の運営

社内で法的・倫理的に不適切な問題(不正・違反行為等)が発生または発生のおそれがあるときに、早期に発見し適切な措置を取ることを目的として、内部通報制度「オリコ・ヘルプライン」を運営しています。通報者の保護を規定し、原因や事実調査の上で対策・検証を行っています。

□ コンプライアンス意識調査の実施

社員の意識や会社・職場の改善すべき点を把握し、その後の取り組みに反映させることを目的に、2004年より、約2年ごとにオリコグループ全社員を対象とした「コンプライアンス全社アンケート」を実施しています。アンケートでは、オリコードの理解やコンプライアンスへの取り組みなどの現状把握だけでなく、職場の環境・コミュニケーションや人権など、会社全体の成長のために必要不可欠なことを確認しています。2014年度は7,714人の回答を得ました(回答率91.9%)。調査結果の一例を挙げると、企業理念の理解(基本理念やオリコードの理解等)に対しては高い理解度が示されました。一方、職場間のコミュニケーションの状況(職場間の連絡・調整等)に対しては、問題意識を持っていることが示されました。これらの調査結果を参考に、重要課題を抽出し、改善に向けた取り組みを行っています。

□ 反社会的勢力との関係遮断への意識醸成と徹底

- 2014年3月、反社会的勢力の排除に向けた態勢強化について、全ての役員・社員を対象に研修を実施
- 2014年12月、クレジットカード・融資商品における反社会的勢力に対する基本方針について、全ての役員・社員を対象に研修を実施
- 2014年5月、12月、2015年2月、「オリコグループ コンプライアンス・トップセミナー」を実施

今後もインフラ整備や社内教育などにより、反社会的勢力に対するさらなる態勢の強化を図っていきます。

コンプライアンス推進体系

社員の日常業務において、以下のようにコンプライアンスを推進しています。社内規程・規則や手続きを正しく理解し、ミスや不正を防止するための仕組みの整備と浸透を図っています。

